



## 新年を迎えて



一般財団法人日本ITU協会  
理事長

やまかわ てつお  
山川 鉄郎

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年12月に理事長に就任いたしました。前南俊行理事長と同様、よろしく願いいたします。

昨年2020年は、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大により、社会活動、経済活動が大きく影響を受け、いまだ世界中で、感染の勢いは収まっていません。国内でも、大都市圏から地方にまで感染が拡大し、感染拡大防止の施策が継続される一方、ビジネスにおいては、withコロナの時代に対応すべく、テレワークや時差出勤、オンライン会議などの施策が広く実施されています。新たな年が、活力に満ちた良い年となるよう期待しています。

昨年の当協会に関わるITU、APT関連の会合やイベントを振り返ってみますと、4月に予定されていたITU-T SG9会合(日本)は中止となり、9月の世界テレコム(ベトナム)や11月のWTSA(インド)は延期され、12月のAPT GA・MC(総会・管理委員会)(日本)はバーチャル開催となるなどの影響を受けました。そのような状況の中、12月のAPT総会で、近藤勝則氏がAPT事務局長に当選されました。お祝いを申し上げますとともに、今後のご活躍をお祈り申し上げます。

また、10月6日には当協会主催の「世界情報社会・電気通信日のつどい」を開催いたしました。例年は5月の開催ですが、感染防止の観点から10月に延期し、規模を縮小しての開催となりました。式典では、長期にわたりITU-Tでの国際標準化活動をされた内藤悠史様が総務大臣賞を、ICT技術を用いてパラスポーツを通じた共生社会作りに貢献された伊藤数子様特別賞を受賞されました。さらに、18名・2団体が功績賞を、18名・1団体が奨励賞を受賞されました。受賞者の皆様、誠にありがとうございました。また、11月～12月には初のオンラインでのAPT研修を開催いたしました。

本年は、昨年国内でスタートした次世代通信規格5Gでの本格的な商用サービスの拡大が期待されます。コロナ禍においては、この5GをはじめとするICT技術を通じての社会的課題の解決、Society5.0に向けての飛躍が強く望まれます。また、本年夏には、延期されていたオリンピック・パラリンピックが開催される予定です。十分な準備のもと、世界中が待ち望んでいる本大会が開催され、日本全体が広く注目を受けることを期待します。

ITU関連では、延期された世界テレコム(ベトナム)が10月に、WTDC(エチオピア)が11月に予定されております。リアルのイベント開催は難しさが想定されますが、これまでに蓄積した経験を基に、ITUやAPTの会合やイベントについて関連する皆様と連携を取りながら、柔軟に準備を進めてまいります。

当協会は本年で創立50周年を迎えます。これまでのご支援に感謝するとともに、今後も日本政府、賛助会員の皆様とITUとの十分な橋渡しができるよう、より一層の努力を怠りません。

本年の皆様のご健勝とご活躍を心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



つどい式典会場 (2020年10月6日)